

3. 熊野沖フェリー座礁横転海難発生



吊上げ救助状況

救命いかだからの救助状況

11月13日、乗員乗客28名（乗員21名、乗客7名）を乗せたフェリーが熊野灘沖を航行中、急激に船体が傾斜したことから当庁に対し救助要請がありました。救助のため、直ちに第三、第四、第五管区から巡視船艇6隻、航空機2機を現場海域に向かわせました。

ヘリコプターからフェリーに降下した機動救難士（関西空港海上保安航空基地所属）は、船体の傾斜が大きく動揺があるにも関わらず、迅速な作業により乗員乗客21名を吊上げ救助しました。

また、機動救難士とともに保船要員として最後まで残っていた乗員7名も、膨張式救命いかだで脱出させ、荒天下、フェリーの流出油にまみれながらも、無事巡視船すずか搭載艇（尾鷲海上保安部所属）に救助されました。

機動救難士は、関西空港海上保安航空基地のほか、函館航空基地や美保航空基地などの航空基地に配備され、24時間体制で人命救助に備えています。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでご覧いただけます。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3
03-3591-6361（代表）

（編集・企画）海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

海の「もしも」は**118番**

